

■挑戦という苦勞■

ほぼ週刊【松村拓也のメルマガジン】第 361 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

361 目次

- 1. トピックス：名栗の森オーナーシップクラブ 3 月例会
- 2. ブログより：挑戦という苦勞
- 3. 今週のお誘い+今後の予定
- 4. 地主の学校・販売中
- 5. アクセスポイント：問い合わせ先
- 6. このメルマガについて

.....

- 1. トピックス：名栗の森オーナーシップクラブ 3 月例会

埼玉県飯能市の西部、旧名栗村にある名栗湖の南側に面する山林所有者の O さんと所有権を分かち合う会員制のクラブです。

<http://land-resource.org/naguri/about/>

サイトにもある通り、2016 年に開始した活動ですが、一昨年から始まったコロナ禍を配慮して現地での活動を自粛してきました。

そんな中、昨年末より会員の S さんによる「東の森の道づくり」がスタートし、この活動は新たな局面を迎えることになりました。

これまで、「関東ふれあいの道」の白谷沢ルートの入り口部分に位置する「西の森・沢を中心とした活動」から、新たに始まった「東の森・木・土・石を使う活動」にワクワクしています。

・

そこで今年から、第 4 日曜に開催する「現地での例会」を再開したのですが、いよいよ準備段階を終え、森での実践にシフトしていきたいと思います。

そこで、横浜から通う事務局・松村は、現地での活動を会員諸氏にお任せし、むしろ平日に行うべき諸官庁や関連企業等との連携を模索することにしました。

というわけで、事務局としての日曜例会参加は、今度の日曜でいったん終了いたします。

この記事をお読みになった方で、是非一度「名栗の森を見てみたい」という方がいらっしゃれば、ご一緒したいと思います。

・

日時：2022 年 3 月 27 日(日) 10~14 時

場所：保全山荘一名栗の森・東&西エリア

集合：9:30 頃、JR 東飯能駅西口ロータリー 及び 西武飯能駅北口ロータリー

費用：一般 2,500 円、松村同伴者は無料

申込はこのメールに返信で、詳細は後程お伝えします。

・

なお、4月からは従来火曜日としていた横浜反町「いづみ PJT」の活動日を日曜日に変更する予定です。

こちらについては、来週ご報告しますので、もう少々お待ちください。

ではでは！

.....

2. ブログより：挑戦という苦勞

昨日は、チャレンジアシストプログラムの活動報告会にオンラインで参加した。

これは東京都教育委員会と BumB 東京スポーツ文化館が主催する助成事業で、若者のグループが初めてのチャレンジとして企画・提案する活動を、ジャンルを問わず支援する取り組みだ。

僕は 2010 年から審査員として参加しているが、毎年多くのチャレンジングな若者と知り合うことのできる、とても美味しいプロジェクトだ。

総額 100 万円を 1 グループ 30 万円以内で 4~5 グループに支給するのだが、毎年 4 月ごろから募集を始め、7 月ごろに助成対象を選定し、翌年 3 月までに活動を完了する。

そして、チャレンジの顛末と収支報告を受けて、審査員と意見交換しながら活動を総括するのが、今日の目的だ。

・

報告に先立ち、僕は「君たちの挑戦の成功した部分と失敗した部分を説明せよ」と注文した。

でも、これに対する彼らの説明は、僕の意図するものと違っていた。

例えば、予定以上の参加者がいたことが成功で、無料開催のため収益化が図れなかったことが失敗というのだが、これでは事業の目的が「参加者から参加費を徴収して収益を得ること」となってしまう。

でもそうだろうか、このプログラムはそんなことをサポートするために税金を使うのだろうか。

いや、さらに言うなら、参加者は事業者の収益のために参加費を払うのだろうか。

そもそも、この話の一体どこがチャレンジなのだろう。

・

収益はさておき、せめて採算の確保を目指すのであれば、無償で開催することは挑戦の失敗でなく、むしろ挑戦からの逃避かも知れない。

たとえ無償でも参加者が集まらない失敗より、参加者は集まったが収益化は難しいという失敗の方が、まだから成功とでもいうのだろうか。

だがもしも、本来千円の参加費を取るべきところ、助成を受けることで初回を無償化して参加者を募り、2 回目以降を有償で受け付けたらどうだろう。

恐らく、多くの助成事業では、こんな議論が行われるのだろう。

だが、この事業は違う。

「何をやったかの反省会でなく、何をやりたかったのか、そしてやってみてはじめての思いはどう変わったのかを聞きたい」と、他の審査員が突っ込んだ。

・

このプログラムの特徴は、いわゆる助成金事業にありがちな「課題解決」でなく、「チャレンジアシスト=挑戦の支援」を目的とすることだ。

もちろん挑む対象は課題であり、挑む行為はその解決策を講じることなのだが、「課題解決」はゴールではなく通過点に過ぎない。

つまり、「チャレンジのゴール=本当の目的」は、もっとその先にある。

本当の目的とは、「自分にとっての成功」だと僕は考える。

もしも自分の願いが「多くの人を集めること」ならば、参加者さえ大勢集まればたとえ大赤字でも不評でも、それは立派な成功と言える。

ここで問題は、果たしてそれが「本当の願いかどうか」ということだ。

それを確かめるには、やってみるしかないと思う。

・
この「やってみる」を、私たちは「チャレンジ」と呼び、そのきっかけを提供する。

あるグループが「この助成金をもらったばかりに、引込みがつかなくなり、足りない資金は必死に集めるしかなかった」と白状するのを聞いて、僕は「大成功！」と太鼓判を押した。

審査員にとって、「うまくいきました」でなく、「大変だった」、「苦勞した」、「助けてもらえた」、「仲間ができた」と聞く時こそが、「助成して良かった」と胸をなでおろす瞬間だ。

審査員たちの願いは、若者たちに「チャレンジという苦しさ」を味わってもらうことであり、東京都はこのことに税金を投入する。

昨年はコロナ禍の中で応募者が集まらず、予算も無いのに事務局が2次募集をして、審査員が2回審査を行ったのは、この事業をやりたいからに他ならない。

応募者がチャレンジしてくれることは、審査員や事務局にとっての成功でもあり、その成功をみんなで共有するのが報告会の目的だ。

・
報告会を総括して、全ての審査員、応募者、そして東京都の担当者がコメントした。

そこでみんなが共有したのは、この「チャレンジアシストプログラム」を存続・発展させるために協力し合うことだった。

という訳で、このブログを読んでもらったあなたとも共有したい。

2022年度チャレンジアシストプログラムに、より多くの若いチャレンジャーとして名乗り出て、または送り込んでいただきたい。

よろしくお祈りします！！

※令和3年度サイトはこちら（令和4年度は準備中）

<https://www.ys-tokyobay.co.jp/social/cap2021.html>

<https://nanoni.co.jp/20220321/>

.....

3. 今週のお誘い+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：参加不可、下記以外の時間はすべて応相談

■今週の予定

(火) 03/22 いづみ（横浜）作業日

交流◎：09-17時 いづみ PJT オープンデイ、説明会（反町）

会議○：20-21時 LR 経営会議（zoom）

- (水) 03/23 なのに (自宅) 作業日
 会議×：20-22 時 星の谷 MTG (zoom)
- (木) 03/24 なのに (自宅) 作業日
 会議◎：17-19 時 笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- (金) 03/25 休業日 (墓参り)
- (土) 03/26 笑恵館 (世田谷) 作業日
 交流◎：09-17 時 よろず相談会 (笑恵館)
 会議◎：20-22 時 AZ51 作戦会議 (zoom)
- (日) 03/27 なのに (自宅) 作業日
 交流○：10-14 時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)
 交流○：16-20 時 京島シンポジウム (京島駅)
- (月) 03/28 なのに (自宅) 作業日
 会議×：10-12 時 京島まつむら塾 (zoom)
 会議×：21-23 時 八島花財団 MTG (zoom)

■定例の予定

月曜

火曜・毎週 09-17 時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)

第 2,4 20-21 時 ○LR 経営会議 (zoom)

水曜・毎週 20-22 時 ×星の谷 MTG (zoom)

第 2 08-10 時 ×AR チーム MTG (zoom)

木曜・第 2 15-16 時 ×かなこ PJT (zoom)

17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

19-20 時 ○OforW 経営運営会議 (zoom)

第 3 13-18 時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)

18-20 時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)

20-21 時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)

第 4 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

金曜・第 2 19-20 時 ◎カプラー起業交流会 (zoom)

土曜・毎週 09-17 時 ◎よろず相談会 (笑恵館)

第 1 21-22 時 ×喜多見共和国 MTG (zoom)

第 2 12-14 時 ×RYUSEN PJT (zoom)

日曜・第 1 10-11 時 ×100smile 会議 (zoom)

第 4 10-14 時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

03/28 交流×：10-12 時 地主の学校 読解・第 5 章 (zoom)

03/28 会議×：21-23 時 八島花財団 MTG (zoom)

03/29 会議×：13-15 時 理知の杜評議員会 (zoom)

03/30 会議×：17-18 時 開かれた会 MTG (zoom)

04/02 交流○：10-14 時 AZ51・HCD 同期会 (zoom)

04/16 交流○：みんなの裏山 清掃・現況確認 (浦賀)

05/21 交流〇：みんなの裏山 下草刈り・土地整備（浦賀）

07/10 交流〇：13-16時 チャレンジアシスト公開審査会（zoom？）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：株式会社なのに（取締役・平社員）

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職場：一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

ユナイテッドスクールオブ東京（顧問）

<https://www.united-school.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>